

(陳受 30 第 14 号) 周防地区に地域内交通(オンデマンド型交通)の導入を求める要望書	
受理年月日	平成 30 年 11 月 5 日
陳 情 者	周防地区連合自治会 会長 深来 登
陳 情 の 要 旨	
<p>光市では平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間をかけて「地域公共交通網形成計画」を策定し、将来を見据えた公共交通網の再構築を進めております。</p> <p>現在の周防地区の公共交通手段は、地理的条件によりバスがメインとなりますが、停留所までの距離や、便数に不便を感じるとの声も聞かれます。</p> <p>今後、高齢者はますます増加し、運転免許返納者や加齢による運転不適合者も増加することが見込まれます。当地域では、バスが少ない、マイカー運転ができない、加齢で自転車が乗れないなど、日常生活を送る上で不可欠な移動手段がなくなり、食品・日用品の買い物、病院への通院等の生活活動に支障が出るのではと不安の声も多数あります。</p> <p>平成 27 年に光市議会会派が行なったオンデマンド型交通の勉強会においても 100 人近くの地域住民が参加した状況も鑑みていただき、この問題が当地域の喫緊の課題であることをご理解いただき、地域内交通の早急な導入を働きかけていただくことを要望いたします。</p>	